

The background of the slide is a photograph of a landscape. In the foreground, there are several dark silhouettes of people on horseback, some holding long poles. The background shows a valley with rolling hills and several tall wind turbines with three blades each. The sky is overcast and grey.

(資源エネルギー庁主催)
ドイツとスペインのウインドファーム、
自然保護団体、環境省、事業者等を視察

日時: 2008年2月1日 ~ 2月8日

場所: スペイン(ナバラ州都パンプローナ・マドリッド)
ドイツ(ベルリン、ハンブルグ)

目的: 風力発電の導入先進国であるスペインとドイツで
関係各機関を訪問し、バードストライク被害の実態、
環境影響評価などの法制度などについて知見を得る。

参加者:
自然保護室 浦達也

The image shows the entrance to the Spanish Ministry of Environment. The building is made of light-colored stone with large columns. The entrance is a set of stairs leading to a glass door. Above the door is a dark sign with gold lettering that reads "MINISTERIO DE MEDIO AMBIENTE". There are blue accessibility signs on the columns. Several people are walking up the stairs and entering the building. The scene is outdoors and appears to be a busy day.

MINISTERIO
DE
MEDIO AMBIENTE

スペイン政府・環境省を訪問。スペインのエネルギー政策、風力発電に関する法制度(野生生物保護、環境影響評価、立地選択等)などについてお話を伺った。

マドリッドからパンブローナへ移動中。このように
手前から奥まで風車の列が並んでいる。
やはりスペインは風力発電先進国である。





スペイン北部・ピレネー山脈近くにある風車を見学。



これも撤去痕

右下隅の白い場所は、元々は風車があった所。
絶滅危惧種のシロエリハゲワシの衝突事故が
多いため、ナバラ州の指示により撤去された。



ナバラ州環境局を訪問。風力発電や野鳥保護に関する州の取組や法制度についてお話を伺った。



風車の羽が野鳥から良く見えるか
色を塗って試験をしているところ。



SEO/BirdLife (つまりスペインの野鳥の会)を訪問し、自然保護団体からみた風力発電のバードストライク問題やその対応内容、国の法制度への意見などを伺った。

スペインでは大手の電力会社イベルドロラを訪問。
事業者の立場から見た自然保護を考慮した風力発電の
立地選択、バードストライク対策についてお話を伺った。





ドイツ連邦環境省を訪問。ドイツのエネルギー政策
風力発電に関する法制度(野生生物保護、
環境影響評価、立地選択等)などについてお話を伺った。



ドイツの大手風力発電事業者Notus(ノータス)を訪問。
事業者の立場から見た自然保護を考慮した風力発電の
立地選択、バードストライク対策についてお話を伺った。



風力発電導入コンサルタントを訪問。立地選択の基準となる自然保護に関する情報、調査方法、事後対策などを事業者にアドバイスする業務を行なっている。



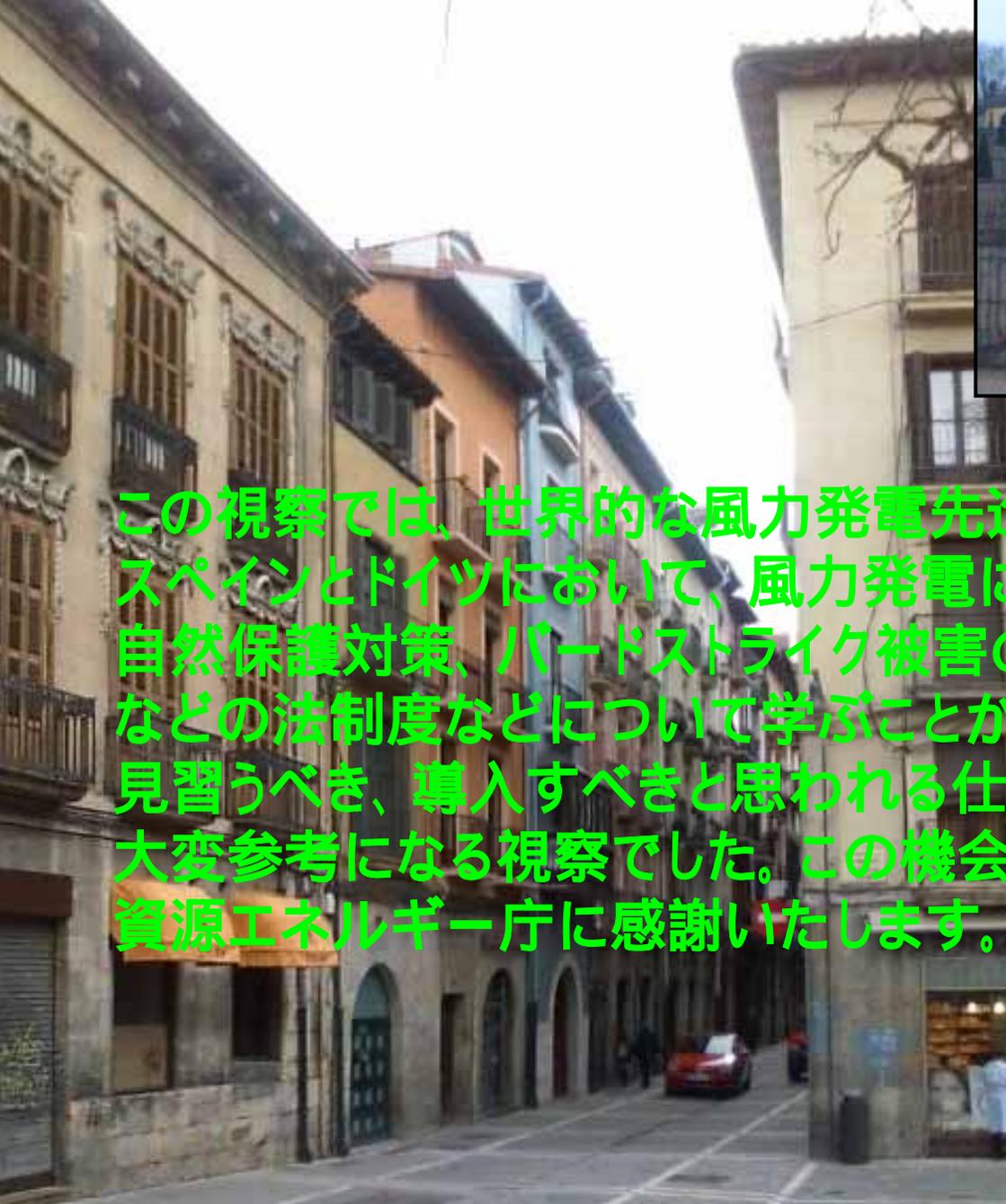


現地の研究者から
お話を伺っているところ

ドイツ北部・シュレースヴィヒ＝ホルスタイン州
にある風力発電地帯。ユトランド半島の付け根
にあるこの地域は、春と秋に多くの渡り鳥が通過。
(冬のドイツはいつもこんな天気とか…)

ドイツ最大の自然保護団体:NABU(ドイツ自然保護連合)のHermann Hotker博士を訪問。自然保護団体からみた風力発電のバードストライク問題やその対応内容、国の法制度への意見などを伺った。



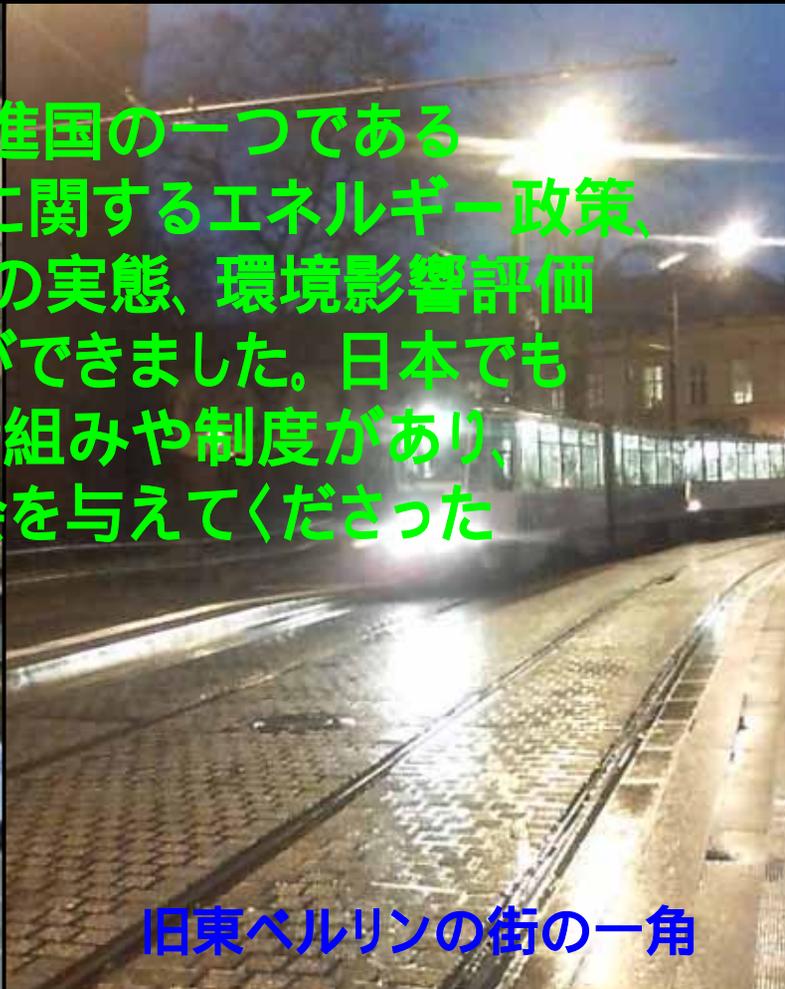


パンプローナの街の一角



サンスーシ宮殿(ポツダム)

この視察では、世界的な風力発電先進国の一つであるスペインとドイツにおいて、風力発電に関するエネルギー政策、自然保護対策、バードストライク被害の実態、環境影響評価などの法制度などについて学ぶことができました。日本でも見習うべき、導入すべきと思われる仕組みや制度があり、大変参考になる視察でした。この機会を与えてくださった資源エネルギー庁に感謝いたします。



旧東ベルリンの街の一角